

イベント情報

3/14
(日)

福島ユナイテッドFC 開幕戦



「2021明治安田生命」J3リーグ開幕戦
福島ユナイテッドFC VS 藤枝MYFC

3/20 (土)

福島ユナイテッドFC ホームゲーム

福島ユナイテッドFC VS Y.S.C.C横浜

4/11 (日)

福島ユナイテッドFC VS ロアソン熊本

4/25 (日)

福島ユナイテッドFC VS
いわてグルージャ盛岡

- 時 間／13:00キックオフ (4/25のみ 14:00キックオフ)
- 会 場／とうほう・みんなのスタジアム (県営あづま陸上競技場)
- 入場料／大人 前売り 1,800円、小・中・高校生 前売り 800円 ※団体観戦割引あり、要問合せ
- 主 催／(株)AC福島ユナイテッド/NPO法人福島ユナイテッドスポーツクラブ
- 問合せ／TEL 024-573-8203 ※フードパーク、無料サッカー教室同時開催予定

書籍紹介

「少人数で大きな仕事を行う方法」



「NPOの人達って忙しいですよ?」そう声をかけられる。確かにそんな印象があります。目にとまった「小さなチーム、大きな仕事」の書籍から心にとまった内容を引用してみました。活動にお役立てください。

【大切なのは「身軽」であること。そのために避けること】

「長期契約」「過剰人員」「固定した決定」「会議」「鈍重なプロセス」「在庫」「変更できないもの」

<大切なこと>

- ・「活動の芯」を確認し、それ以外のものをそぎ落とす。
- ・何かを決めるときに詳細を決めない。(不具合が起きた時に調整しやすい。)
- ・副産物を事業化。(何か事業を行う際に余分なものがでる。その価値に気付くことは視野を広くとっている証拠である)

<やめた方が良いもの考える>

- ①なぜ行うのか? ②どういった問題を解決するのか? ③これは本当に役に立つのか?
- ④何か価値を加えているのか? ⑤それは行動を変えるのか? ⑥もっと簡単な方法はないのか? ⑦かわりに何をすることができるのか?
- ⑧本当にその価値があるのか?

<事業のマイナス要素>

- ★邪魔が入る環境では能率はあがらない。(電話や来客、会議などがその1つである。)
- ★完璧な解決策、大きな決断。(解決策はそれぞれこのもの、決断は小さいものでかまわない。決断に時間をかければ、かけるほど、変更がきかず、が身動きをとれなくさせる。)
- ★長すぎるToDoリスト (終わることがないので、モチベーションが下がる。)
- ★プレスリリース (情熱が伝わり、電話やメール、手紙の方が効果的。)
- ★何か不具合に大げさに反応する。(1人の間違いから規則が多くなり、縛られてしまう。)
- ★「できない」「しなければならない」「必要」「簡単」「ただ」「だけ」「早く」の言葉。

<人を雇うのに必要なこと>

- ★限界で人を雇う。
- ★学歴は忘れる。(アカデミックな環境につきすぎると弊害もある。)
- ★文章力のある人を雇う。(企画書や申請書、報告書、文章を書く機会も多い。)



参考になったかな?

サポわんが
振り返ります



「2011.3.11 あの時、ふくサポは？」

東日本大震災から10年の時が経過しました。あの日あの時、ふくサポは何をしていたのでしょうか？

★発生時、「懐かしの福島写真展」開催中、まわるような大きな揺れに見学者の避難をサポートしました。

★13日には通常開館。21時過ぎの福島の街は真っ暗でした。

★支援品の受付と避難所収容人数の把握。県内外からの支援品を受け付け、仕分けし、避難所やNPO団体に運びました。

★4月にふくふくプロジェクト（ふくしまNPO・市民活動団体連携復興プロジェクト会議）開設。事務局をサポートしました。

★全国新聞の復興欄に福島県NPOの状況が掲載されることになり、毎日、NPO等のお聞き取りをし、新聞社に情報提供をしました。（2年間、毎日、掲載されました。）

★ビルの入り口に福島市街地の地図を配置し、「どこでお弁当を売っている」「どこで炊き出しをしている」などの小さな情報もビルの入り口やロビーに手書き掲載をしました。また、ロビーのPCのネット閲覧も開放しました。

★ボランティア情報の発信を行いました。

振り返れば、昨日のこのように思い出します。10年と共に皆様のお力でふくサポも成長してまいりました。今後も未来をみつめ、皆さんと共に一歩ずつ歩みたいです。

☆ふかちゃんのつづやき☆

「病院の窓から見たもの」

白内障の手術で5日間入院した。そこはコロナ禍にみまわれた現代社会と同じあるいはその縮図で、入院し続けると病気になると何となく感じた。大変なおもいで患者と接している病院関係者は、さらに意識して明るく振る舞ってくれるが、患者同士の会話は全く無く、事故防止で階段の上り下りも禁止。毎回同じような美味しいとは言えない食事と、寝ながらイヤホンで聞くテレビやラジオだけが楽しみ。個人権利の尊重と事故防止の徹底、そして絆は基本バーチャル。裏返すと何をやるのもダメダメで、肉体的にも精神的にも弱体化しそうだった。コミュニティってなんだろう。個人の権利と社会性ってどこで折り合いがつくのだろうか。

私がメガネと出会ったのは小学生の時、以来60年の付き合いだ。世の中にメガネが無ければ私はずっと「障がい者」だったろう。「学習障害」だったといわれるアインシュタインや「悪ガキ」だったエジソンも昨今ならきっと「問題児」。「えっ、あなたは普通の人？」普通って何ですか？そして多様って何ですか？自分と違う強烈な個性に出会ったとき私はバランスをとれるだろうか。

「強い者が勝ち全体の豊かさを引っ張る」というアングロサクソン資本主義。格差はどんどん広がる。経済的に弱い者は不必要なのか。弱い者は死んでもいいのか。自然は利己的な生物同士の非情な闘争の舞台であるが、人間はどこまでも社会を必要とし自分ひとりで生きている人は誰もいない。さらに、豊かな大地を侵してまで使う化学肥料。11kgの穀物を使って作る牛肉1kg。でも、きっと、「お金より大事なモノ」がある、短期的な生産性の議論より「豊かなもの」があると、私は信じたい。

2024年に一万円札の顔となる「道徳経済合一説」渋沢栄一の大河ドラマが始まる。そして日本には近江商人が大切にしていた「三方良し」という利他的な言葉もある。必要なのは共存共栄の精神。日頃から『助けて』と頼りあえる関係。そして、私たちは「未来の人の幸せが自分の幸せになる」と考えられるだろうか。

SDGs達成目標まであと10年。価値ある仕事はお金では買えない。ぼやけた眼で病院の窓の外を見ると、雨が雪に変わり、「コロナで汚れた街」が洗われていくようだった。

